

# 18年度予算の特徴

主な事業（ は新規事業）	
<b>【災害などの対策】</b>	
防災訓練の実施	400万円
国民保護協議会運営事業	100万円
防災マップの作成	400万円
耐震性貯水槽建設事業 (地下式40t、5基)	2,650万円
アスベスト対策事業	8,030万円
東消防署分署建設事業(再掲)	2億3,000万円
<b>【地域の安全】</b>	
安全・安心まちづくり推進事業	216万円
防犯灯整備事業(充実)	1,000万円
<b>【食の安全】</b>	
水道施設の計画的な整備	13億2,915万円
前橋生鮮食料品総合卸売市場施設整備補助	4,600万円

主な事業（ は新規事業）	
<b>【教育の充実】</b>	
特色ある学校づくりの推進	3,683万円
学校支援寺子屋事業(充実)	196万円
不登校傾向児童生徒職業体験学習	2万円
市立前橋高校生徒海外研修事業(充実)	600万円
前橋工科大の学科改編準備	3億4,170万円
<b>【教育環境づくり】</b>	
小中学校への防犯カメラなどの設置	1,500万円
小中学校施設整備(大胡小、七中、 粕川中など)	20億5,786万円
北部共同調理場移転新築(再掲)	13億8,750万円

前橋工科大では、地域産業をリードできるよう知的創造拠点として、十九年度の開設に向けた学科改編に取り組んでいます。教育環境づくりでは、全ての小中学校に防犯カメラを設置するとともに、保護者や地域の協力者をいいただき、児童生徒の登下校時の安全対策



移転新築する元総社公民館

本年度は秋原朔太郎の生誕百二十年に当たることから、マンドリンフェスティバルなどのさまざまな記念事業を実施。前橋文学館の活性化を図るとともに、文化振興の充実に努めます。

地域の生涯学習活動や文化活動の拠点である地区公民館では、元総社公民館の新築工事に取り組みます。また、公民館図書室の開館を一時間延長するほか、各公民館ごとに特色ある事業展開を進め、地域の特性に応じたコミュニティの形成を支援します。さらに、市立図書館にインターネットによる蔵書貸出予約機能を新しく構築します。スポーツの振興では、国体冬季大会スケート競技会の開催を支援するとともに、各種スポーツ大会への助成を拡大します。

「自主防災組織」設立支援の継続、「まちの安全ひろげたい」への活動支援など、市民の力による防災・防犯体制の確立と強化を図りながら、災害などに強いまちづくりを推進します。

消防では、宮城地区に東消防署分署の建設を進めるとともに、消防車両を計画的に更新・整備し、消防力の均衡と向上を図ります。

教育の充実では、特色ある学校づくりを引き続き進めるとともに、地域の高齢者などのポランテアによる学校支援寺子屋事業の対象を全市域の小中学校に拡大します。市立前橋では、長期海外研修から短期研修への見直しを行い、研修機会の拡充を図ります。

## 安全安心の暮らしづくり

さらに、JR前橋駅周辺の道路では、段差の解消などを進めるとともに、JR前橋駅構内に、国・県・JRと協調してエレベーター二基を整備し、バリアフリー化を推進します。

の設置に対しても助成を行うことで、食の安全安心の確保に努めます。

## 文化・スポーツの振興

主な事業（ は新規事業）	
マンドリンフェスティバル運営事業	300万円
秋原朔太郎生誕120年記念事業	1,120万円
元総社公民館移転新築(18~19年度)	7億500万円
第62回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催支援	2,200万円
全国、関東各種スポーツ大会補助金(充実)	300万円

主な事業（ は新規事業）	
<b>【省エネルギー・リサイクルの推進】</b>	
ゴミ減量化器具購入助成事業(充実)	755万円
紙リサイクル拠点回収事業(拡大)	270万円
ゴミ分別収集運搬事業	6億2,234万円
太陽光発電システム設置費補助事業(100基 180基)	4,320万円
ゴミ処理施設等システム・新技術調査事業	100万円
<b>【自然環境を生かした公園整備】</b>	
全国都市緑化フェア関連事業(一部再掲)	12億5,850万円
身近な公園・緑地整備事業(再掲)	6,000万円
みやぎ千本桜の森整備事業( )	9,250万円
<b>【公共用水域の水質保全】</b>	
下水道管の計画的整備、下水道合流改善事業	16億5,770万円

地域コミュニティの活性化と特色ある地域づくりを進めるため、新たに「地域づくり推進事業」に取り組みます。また、大胡・宮城・粕川地区では、地域の参加と意見の反映を図りながら、利用者の希望に応じて自由に乗降できるデマンドバスの社会実験を行います。また、本市の将来都市像を描

中小企業の経営基盤強化や経営革新をより確実なものとするため、経営セミナーや経営支援相談事業を拡充します。また、新産業の創出では、

農業では、さまざまな担い手育成の支援策を展開。十九年度に開始される品目横断的経営安定対策への対応を強化します。また、農村と都市との交流を進め、消費拡大と農業振興を図るため、新たに「ふれあい体験交流事業」に取り

土地区画整理事業については、生活密着型公共事業として積極的に事業を推進。幹線道路ではJR駒形駅周辺の整備に着手。新地域の幹線道路や街路を計画的に整備します。市営住宅では、十八・十九年度の二カ年で、広瀬第五団地UF棟四十戸の建設に取り組みます。



「環境都市」にふさわしく

ゴミの減量化・資源化に向けた取り組みでは、電動式生ゴミ処理機の購入支援の拡充や紙類回収拠点の拡大を図るほか、住宅用太陽光発電システムの導入支援を引き続き行います。

さらに、将来のゴミ処理施設や処理システムのあり方、新しい処理技術についての調査研究に着手します。

また、二十年三月二十九日から二カ月間、開催する「全

国都市緑化ぐんまフェア」に向けて、その会場となる前橋公園と敷島公園はら園の整備を進めます。さらには、周辺環境に配慮した街区公園などの整備も実施します。下水道事業では、公共用水域の水質を保全するため、計画的な管きよ整備に取り組ま

く第六次前橋市総合計画の策定では、いきいき前橋市民会議「総合計画審議会」などを設置。市民の皆さんの意見を聞きながら、基本構想・基本計画の策定作業に取り組みます。

引き続き新規企業や新技術開発への支援を図り、優良企業の誘致促進策の充実に努めます。

観光面では、市観光協会と前橋コンベンションビュローを統合して、本市を訪れる人たちの増やしながら、地域経済の活性化につなげていきます。

主な事業（ は新規事業）	
<b>【商工業、中小企業の振興】</b>	
新規開業セミナー開催	19万円
経営支援特別事業補助(中小企業相談所)	75万円
産学官連携事業の推進	1,336万円
生命都市いきいき前橋企業立地ガイドの作成	20万円
企業誘致の促進	1億2,932万円
<b>【観光の振興】</b>	
前橋観光コンベンション協会への支援	6,500万円
<b>【農業の振興】</b>	
品目横断的経営安定対策	7,670万円
地域農業強化支援事業	560万円
新園芸産地育成対策事業	1億2,200万円
ふれあい体験交流事業(グリーンツーリズムの推進)	144万円
農業研修者受入れ等助成	72万円
<b>【地域密着型公共事業の推進】</b>	
土地区画整理事業(再掲)	70億488万円
幹線道路関連まちづくり調査事業(元総社落合地区)	200万円
街路事業	13億8,903万円
道路の新設改良など(一部再掲)	19億6,140万円
市営住宅の整備	2億5,440万円